

KANEFUSA

2019年3月期第2四半期決算 および中期経営計画の現況

(2017年度～2019年度)

2018年12月5日

兼房株式会社

ホームページ URL <http://www.kanefusa.co.jp>
お問い合わせ先 執行役員 経営管理部長 佐築賢治
電話番号 0587-95-2821

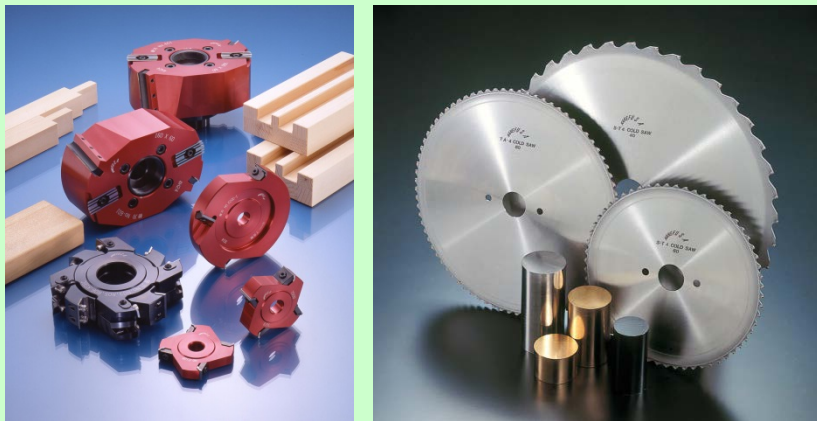
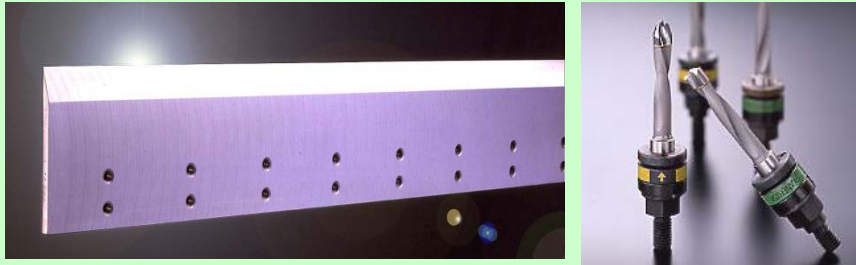
【説明内容】

・ 会社の概要

- ・ 2019年3月期第2四半期決算概要
- ・ 中期経営計画の現況（2017年度～19年度）

会社の概要

工業用機械刃物総合メーカー



■ 設立 1948年11月
《創業1896年（明治29年）》

■ 所在地 愛知県丹羽郡大口町

■ 資本金 21億4,250万円
(1995年4月名証二部上場)
(2006年3月東証二部上場)

		単 独	連結子会社
■ 従業員数	正社員	585名	586名
	パート	147名	107名
	合 計	732名	693名

■ 事業所 本社・工場 国内8販売拠点

■ 子会社 10社 うち海外子会社9社

沿 革

1896年	名古屋市中川区に鍛冶業を創業
1937年	名古屋市熱田区に兼房刃物有限会社設立
1947年	東京出張所を開設
1948年	兼房刃物工業株式会社に改組
1949年	大阪出張所を開設
1959年	日本の機械刃物メーカーで初めて高周波熱処理装置を完成
1964年	大口工場第一期工事完成
1968年	兼房刃物販売株式会社を設立
1972年	大口工場にチップソー工場建設
1982年	大口工場にコールドソー工場建設
1985年	本社機構を大口工場に移管
1986年	ダイヤモンド刃物、カッターブロックの高精度製品の専門工場を建設
1990年	工業、販売を合併。社名を兼房株式会社に変更
1995年	名古屋証券取引所第二部へ上場
1996年	テクニカルセンターを新設
1999年	ISO9001認証取得
2003年	ISO14001認証取得
2006年	東京証券取引所第二部へ上場
2008年	名古屋支社を名古屋市熱田区内で新築移転、中部支社へ改称
2009年	東京支社と前橋出張所を統合し、さいたま市へ新築移転、関東支社へ改称
2012年	徳島出張所を香川県高松市に移転、高松営業所へ改称
2015年	大口工場に第3精密工場建設

海外進出の沿革

1986年	インドネシアに「PT.カネフサインドネシア」設立
1996年	PT.カネフサインドネシア新工場建設
1999年	アメリカに販売子会社「カネフサUSA,INC.」設立
2001年	オランダに販売子会社「カネフサヨーロッパB.V.」設立
2002年	中国に生産子会社「昆山兼房高科技刀具有限公司」設立
2009年	インドに販売子会社「カネフサインディアPvt.Ltd.」設立
2010年	ブラジルに販売子会社「カネフサドブラジルLTDA.」設立
2012年	中国に「天津分公司」設立
	カネフサUSA,INC新社屋設立、移転
2013年	中国に「佛山分公司」設立
	メキシコに販売子会社「カネフサメキシコス.A. DE C.V.」設立
2015年	PT.カネフサインドネシア第2工場建設
	アメリカに「アトランタオフィス」設立
	ロシアに「モスクワオフィス」設立
2016年	ベトナムに販売子会社「カネフサベトナムCo., LTD.」設立
2018年	ベトナムに生産子会社「カネフサベトナム マニュファクチャリングCo., LTD.」設立

海外子会社



カネフサヨーロッパ B.V.
＜販売＞
設 立：2001年4月
従業員数：14名



昆山兼房高科技刀具有限公司
＜生産＞＜販売＞
設 立：2002年9月
従業員数：215名



カネフサUSA,INC.
＜販売＞
設 立：1999年5月
従業員数：12名



カネフサメキシコS.A. DE C.V.
＜販売＞
設 立：2013年12月
従業員数：7名



カネフサインド Pвт.Ltd.
＜販売＞
設 立：2009年8月
従業員数：12名



PT.カネフサインドネシア
＜生産＞＜販売＞
設 立：1986年7月
従業員数：420名



カネフサベトナムCo., LTD.
＜販売＞
設 立：2016年4月
従業員数：7名

**カネフサベトナム
マニファクチャリング
Co., LTD.**
＜生産＞
設 立：2018年6月
操 業：2019年予定



カネフサ ブラジルLTDA.
＜販売＞
設 立：2010年1月
従業員数：11名



事業内容

工業用機械刃物の製造・販売

工業用機械刃物は、木材・紙・金属等を切断・加工する機械に装着して使用される
〈消耗工具〉に該当します。

主要ユーザー

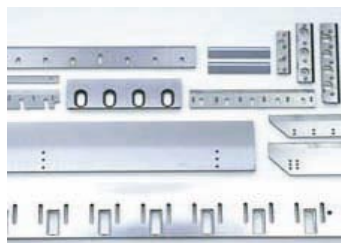
- ・住宅関連産業（ハウス、合板、建材、プレカット、外壁材、電動工具、キッチン、家具等の各メーカー）
 - ・金属関連産業（鉄鋼、非鉄、自動車・部品等の各メーカー）
 - ・製紙・製本紙工関連産業（製紙等の各メーカー、印刷・製本会社）
 - ・IT関連産業（電子部品等の各メーカー）
- その他、環境関連、包装機械、合成樹脂加工会社など
多業種にわたる。



主要製品

平刃類

形状が平らになっているもので、合板用刃物、電動工具の電気鉋刃、製本紙工用刃物、IT関連刃物等があります。



精密刃具類

溝つき・繋ぎ合わせ・穴あけ加工・成型等をする工具で、カッター・エンドミル・リーマなどと呼ばれます。被削材には木質系、窯業系建材、樹脂、非鉄金属等があります。



丸鋸類

円板状で外周部に刃がついており、切断・粉碎をする工具。被削材には木質系等を切断するチップソーや、各種金属を切断するコールドソーがあります。



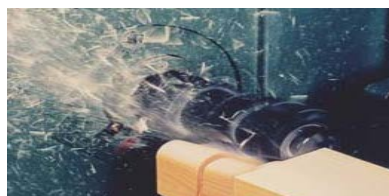
製品一例



住宅関連産業向け
ベニヤナイフ



印刷・製本関連向け
断裁包丁



住宅関連産業向け
仕口カッター



合成樹脂加工向け
エンドミル



住宅関連産業向け
チップソー



金属関連産業向け
コールドソー

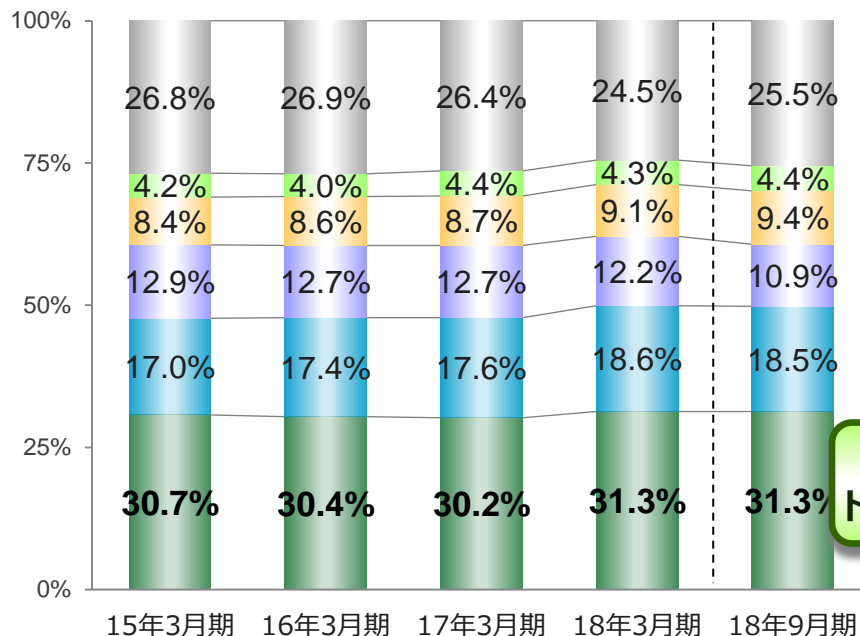
ユーザーニーズに合わせ、製品数は300種3万点

マーケット規模と当社シェア

1. 日本機械鋸・刃物工業会（22社） 売上高ベースでのシェア

総売上高(輸出含む)

計506億円 計497億円 計483億円 計519億円 計268億円



国内
トップシェア

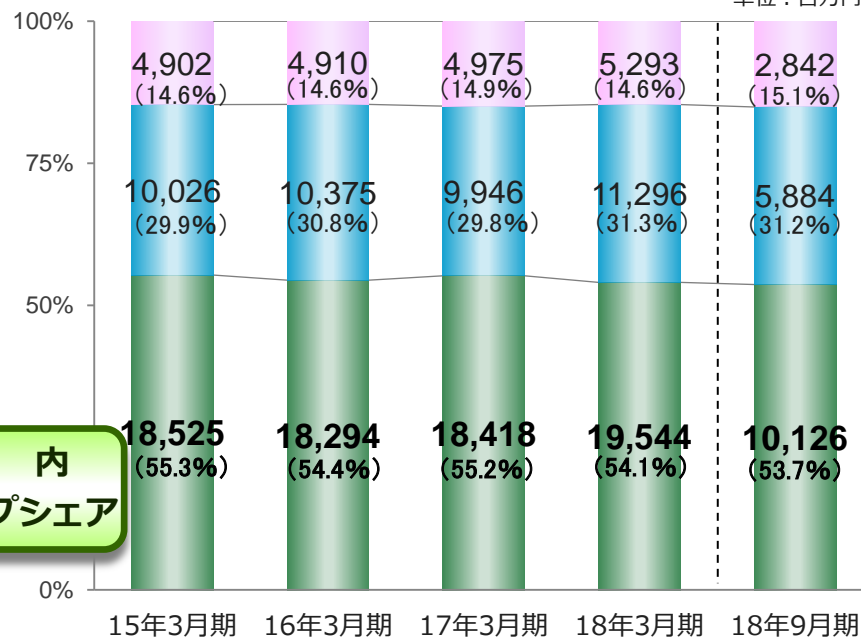
■ 当社 ■ 2位 ■ 3位 ■ 4位 ■ 5位 ■ その他

(加盟企業のみを集計でアウトサイダーの売上高を含まず)

2. 業界株式公開会社3社の 連結売上高ベースでのシェア

計334億円 計335億円 計333億円 計361億円 計188億円

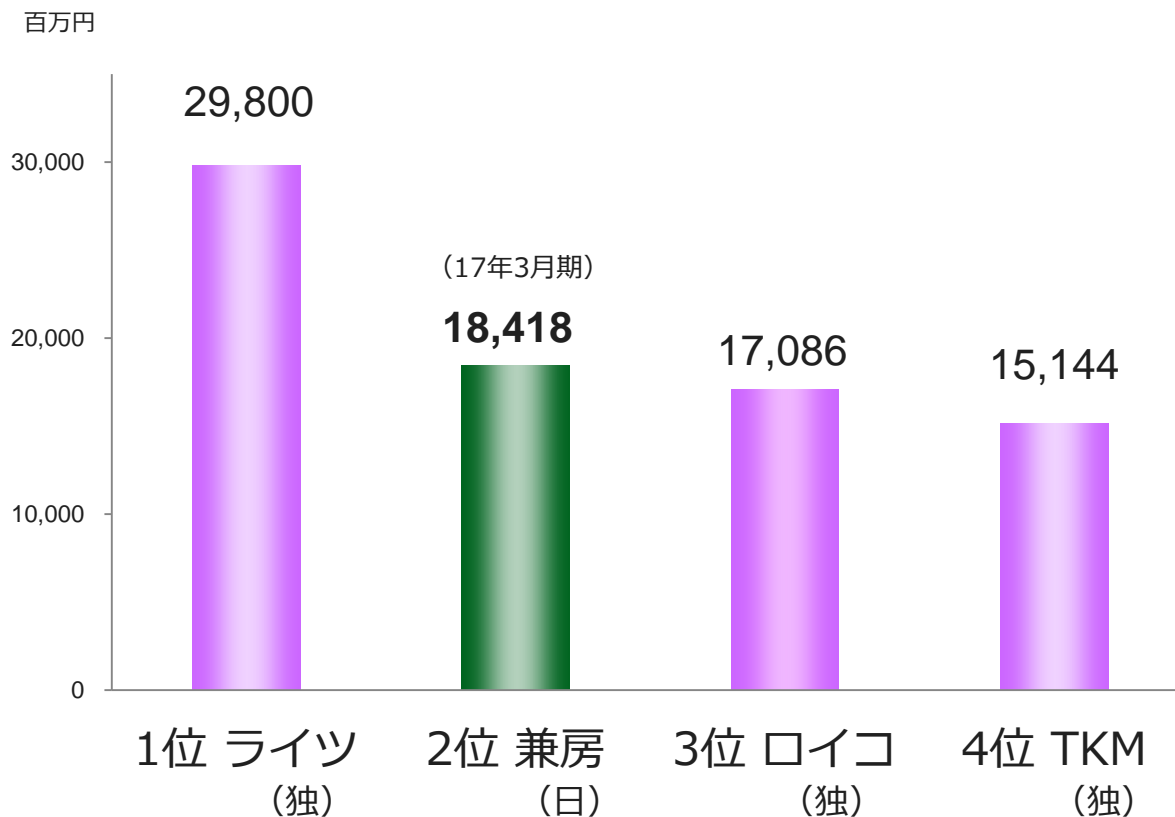
単位：百万円



■ 当社 ■ 天龍製鋸(ジャスタック) ■ 東洋刃物(東証2部)

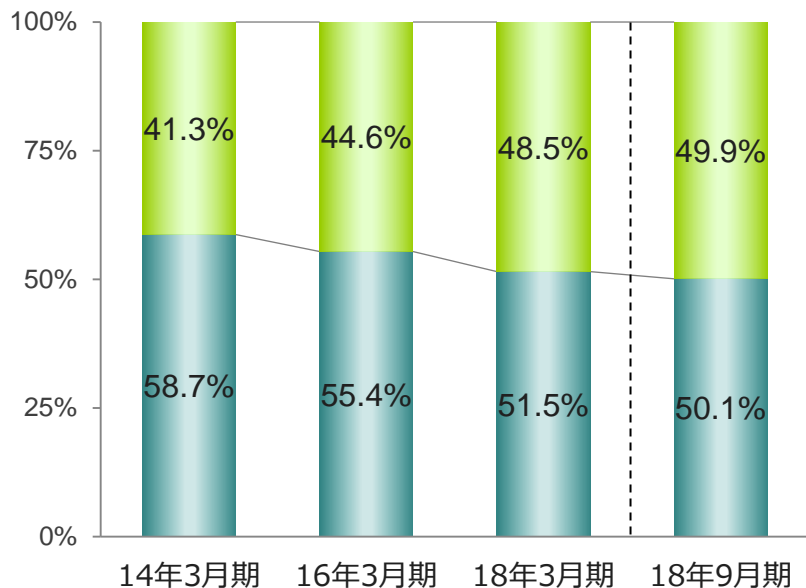
マーケット規模と当社シェア

3. グローバルで見た当社の位置づけ 世界の機械刃物製造企業トップ4社 売上高比較（2016年度）



売上高構成比

業種別



■ 住宅関連 ■ 非住宅関連

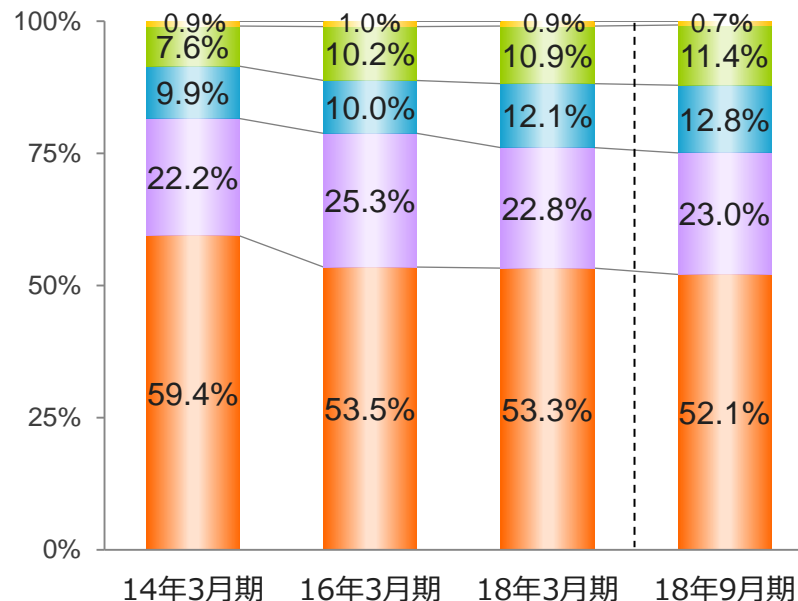
・住宅関連

ハウス、建材、サッシ、キッチン、家具、合板、電動工具メーカー等

・非住宅関連

鉄鋼、非鉄、自動車関連産業等、製紙メーカー、印刷・製本産業、化成系、IT、環境関連産業、包装機械メーカー等

地域別



■ 国内 ■ アジア ■ ヨーロッパ ■ アメリカ ■ その他

・アジア

インドネシア、中国、韓国、マレーシア等

・ヨーロッパ

ドイツ、スウェーデン、ロシア、イギリス等

・アメリカ

米国、チリ、メキシコ、ブラジル、カナダ等

・その他

ニュージーランド、オーストラリア等

＜過去＞ 国内の住宅関連売上に依存

→ ＜現在＞ 一つの業種、地域に偏らない売上高構成を目指す

【説明内容】

- ・ 会社の概要
- ・ 2019年3月期第2四半期決算概要
- ・ 中期経営計画の現況（2017年度～19年度）

2019年3月期第2四半期決算（連結）

1. 損益計算書

単位：百万円

	18年3月期 第2四半期 実績	19年3月期 第2四半期 実績	増減額	増減率	5月14日時点 予想
売上高	9,375	10,126	751	8.0%	9,630
売上原価 (売上高比率)	6,233 (66.5%)	6,611 (65.3%)	[1] 377	6.1%	6,410 (66.6%)
売上総利益 (売上高比率)	3,141 (33.5%)	3,514 (34.7%)	373	11.9%	3,220 (33.4%)
販管費	2,310	2,376	[2] 66	2.9%	2,360
営業利益 (売上高比率)	831 (8.9%)	1,138 (11.2%)	307	37.0%	860 (8.9%)
営業外収益	50	95	[3] 44	87.8%	20
営業外費用	28	32	4	15.3%	20
経常利益 (売上高比率)	853 (9.1%)	1,201 (11.9%)	347	40.7%	860 (8.9%)
特別利益	0	2	[4] 2	544.7%	-
特別損失	1	5	[5] 3	184.4%	30
税金等調整前 当期純利益	852	1,198	346	40.6%	830
当期純利益 (売上高比率)	602 (6.4%)	849 (8.4%)	246	40.9%	540 (5.6%)

国内・海外とも売上が増加し、
前年同期比 増収増益

<増減額の主な内訳>

- [1] 売上原価
原価率 66.5%→65.3%
1.2ポイント改善
- [2] 販管費
人件費 45
運送費 29
- [3] 営業外収益
為替差益 45
- [4] 特別利益
固定資産売却益 2
- [5] 特別損失
固定資産売却損 1
固定資産除却損 1

2. 貸借対照表

単位：百万円

		18年3月期 (3月31日)	19年3月期 (9月30日)	増減額
流動資産	現金及び預金	4,898	5,021	123
	受取手形 及び売掛金	5,270	5,207	▲63
	たな卸資産	4,115	4,455	339
	その他	593	304	[1] ▲289
	小計	14,878	14,988	110
固定資産	有形固定資産	11,217	11,589	[2] 372
	無形固定資産	461	881	[3] 420
	投資その他の資産	1,233	1,281	48
	小計	12,911	13,753	841
資産の部計		27,790	28,742	951

単位：百万円

		18年3月期 (3月31日)	19年3月期 (9月30日)	増減額
流動負債	支払手形 及び買掛金	2,144	2,136	▲7
	未払金	816	1,185	369
	その他	1,141	1,420	[4] 278
	小計	4,102	4,743	641
固定負債	退職給付に 係る負債	340	327	▲12
	その他	351	355	4
	小計	691	682	▲8
純資産の部	資本金	2,142	2,142	-
	資本剰余金	2,167	2,167	-
	利益剰余金他	17,588	18,229	640
	その他の包括 利益	1,097	776	▲321
	小計	22,996	23,316	319
負債・純資産の部計		27,790	28,742	951

<増減額の主な内訳>

[1] 流動資産－その他 仮払金	▲355
[2] 有形固定資産 建物及び構築物 建設仮勘定	137 195
[3] 無形固定資産 土地使用権	418
[4] 流動負債－その他 仮受金	216

3. キャッシュフロー

単位：百万円

	18年3月期 第2四半期	19年3月期 第2四半期
	実績	実績
営業活動による キャッシュ・フロー	1,675	1,477
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 597	▲ 1,099
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 174	▲ 209
現金及び現金同等物 期末残高	4,429	5,015

4. 設備投資額・減価償却費等

単位：百万円

	17年3月期 第2四半期		18年3月期 第2四半期		19年3月期 第2四半期	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	731	685	728	657	1,627	1,027
減価償却費	736	513	756	519	722	502
研究開発費	131	125	128	128	132	132

<投資活動によるキャッシュ・フロー 主な内訳>

	2018年 3月期 第2四半期	2019年 3月期 第2四半期
有形固定資産取得支出	▲ 552	▲ 647
無形固定資産取得支出	▲ 32	▲ 450

【説明内容】

- ・ 会社の概要
- ・ 2019年3月期第2四半期決算概要
- ・ 中期経営計画の現況 (2017年度～19年度)

中期経営計画

1. 新中期経営計画の位置づけ・中期ビジョン

前中期経営計画
(2014~16年度)

“世界トップメーカー
への飛躍と責務”

新中期経営計画
(2017~2019年度)

“世界ダントツ刃物メーカーへの躍進”

兼房グループ売上高200億円を目指し、
品質・スピード・人財において、
業界ダントツNo.1のレベルを確立する。

【中期ビジョン】

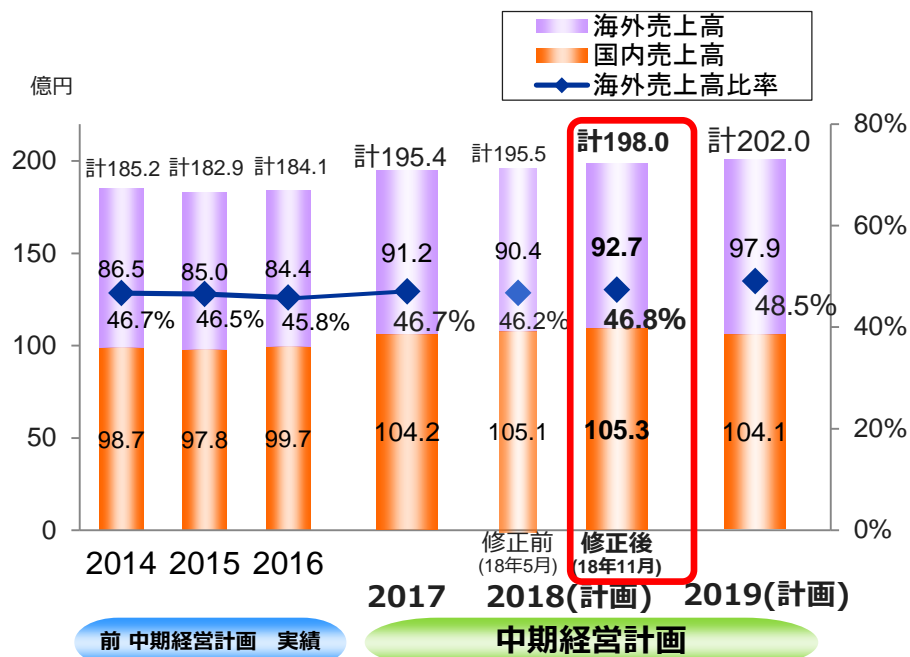
2019年度 連結

売上高	200億円以上
営業利益率	10%以上

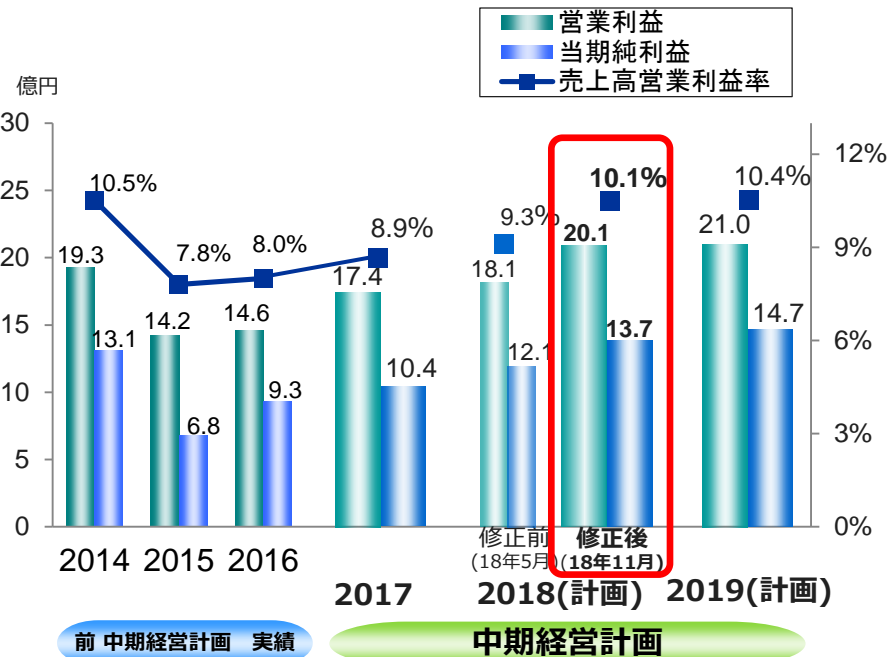
中期経営計画

2. 売上高・利益目標

売上高



営業利益・当期純利益

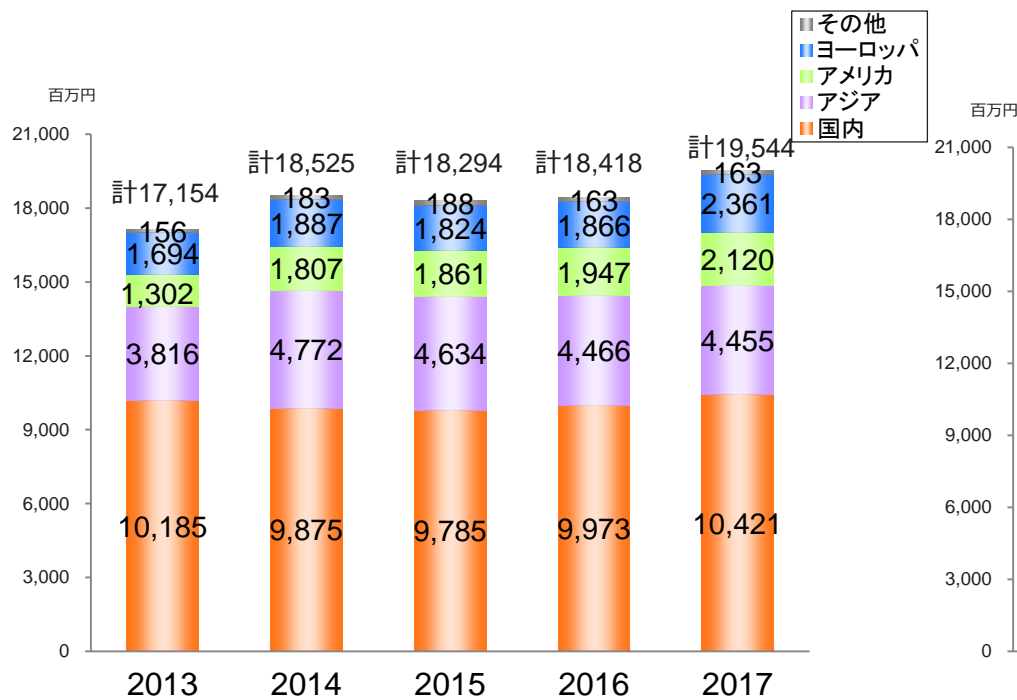


ありがとうございました。

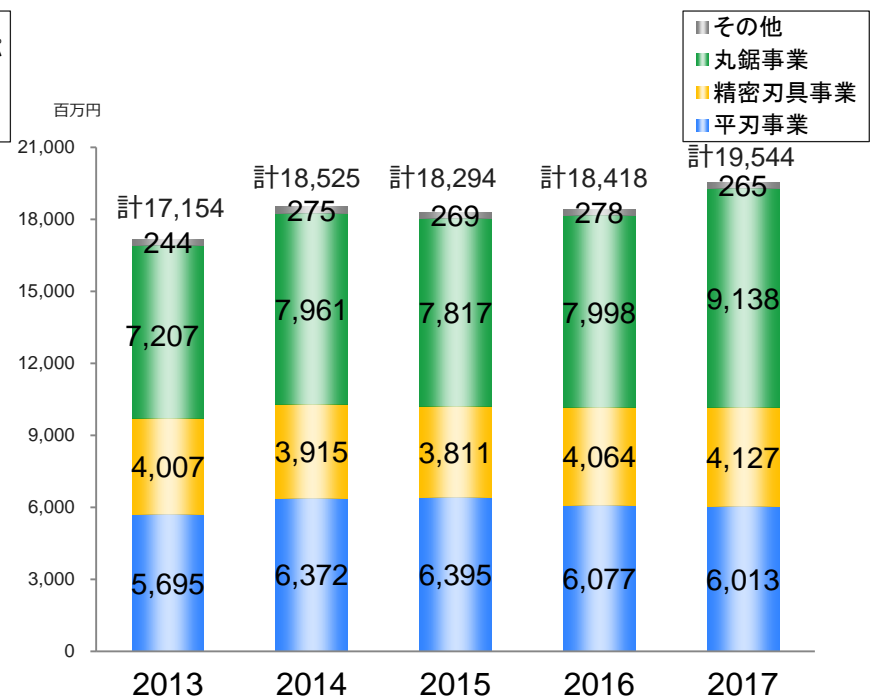
当資料には、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しており、不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

【ご参考】 連結5カ年推移

地域別売上高

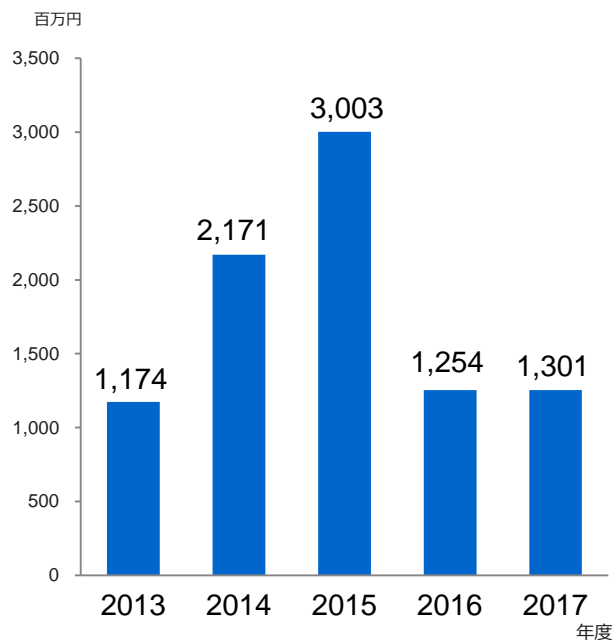


事業別売上高

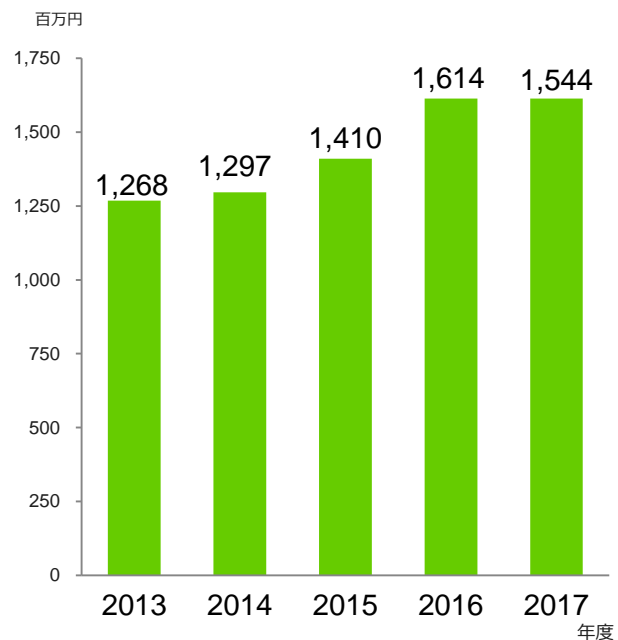


【ご参考】 連結5カ年推移

設備投資額



減価償却費



研究開発費

